

仲間の声

働く仲間のたすけあい 共済コーナー

「個人賠償責任共済」 年間掛金1,000円で 賠償額1億円

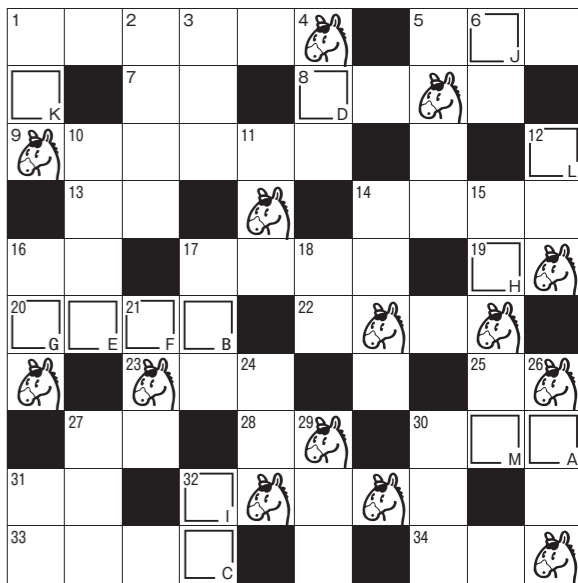
示談代行付

2014年4月1日
効力開始の個人賠償責任共済の継続と新規募集の時期が近づいてきました。掛金は年間1000円で賠償額は1億円、示談代行付となっています。

組合員本人の加入で、生計を共にする同居家族と別居の未婚の子まで補償の範囲に広がっており、家族全員守ってくれるのです。

近年自転車事故も増加しており、昨年7月には神戸地裁で、当時11歳の少年に対して過去最高額約9520万円の賠償を命ずる判決も出されました。年1回の募集時期を逃さず、日常生活における賠償事故に備えましょう。

新春クロスワードパズル



ワク内に今年のエト（ウマ年）にちなんで14か所の馬のイラストが入っています。その部分は意味に関係なくウマまたはハと読み替えてください。クロスを解いたのち、A~Mのアルファベット順に並べてできる言葉を答えてください。（タテとヨコで読み方が異なる箇所もあります）
出題者：山本汎昭さん

タテのカギ

- 1 出産を助け産婦を世話する女性
- 2 王を主権とする国
- 3 庭園や鉢植えに植えてある木
- 4 激しくのびる草花
- 5 思い出が〇〇〇〇の如く駆け巡る

ヨコのカギ

- 6 誰の〇〇でもありやしな
- 7 凍結させた〇〇〇食品
- 8 ウナギを養殖すること
- 9 事故の〇〇〇〇へ向かう
- 10 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 11 空中爆撃の略
- 12 必要以上の親切心。〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 13 江戸間より豊の大きさが大きい
- 14 今が〇〇〇〇〇〇〇〇の新鮮な野菜
- 15 屏。自動〇〇〇〇
- 16 すべ見すかされる浅はかな猿。〇〇〇〇
- 17 精神的外傷を表すギリシヤ語
- 18 わき目もむらさ〇〇〇〇〇〇〇〇
- 19 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 20 新鋭。〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 21 モーターバイクの略
- 22 くらへるもの。〇〇〇〇〇〇〇〇〇

ヨコのカギ

- 23 年魚・香魚とも書かれる
- 24 3割3分3〇〇〇の打率
- 25 人間万事〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 26 粗末なつくりかた。〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 27 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 28 石の〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 29 特別に安く売ること。〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 30 生まれ出た土地
- 31 〇〇〇〇同音に反対を唱えた
- 32 無益な議論。机上の〇〇〇〇〇〇〇〇
- 33 かえりみち。〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 34 才知の極めて優れた子ども
- 35 母に代わって子を養育する女
- 36 日本酒でも〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 37 お好みの物をどうぞ
- 38 あげれくるう馬、気性の荒い馬
- 39 バットに軽く当てボールを転がす打法
- 40 お爺さんは山へ〇〇〇〇〇〇〇〇
- 41 老いらく〇〇〇〇〇〇〇
- 42 雄口バと雌馬との間の雑種
- 43 「軽い」の〇〇〇〇〇〇〇〇は形容詞である
- 44 人を〇〇〇〇で使う
- 45 古い映画・歌・流行などの再演・復活
- 46 沈黙は金。〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 47 生きている馬。〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 48 目を抜く

応募の方法

ハガキに「解答」「所属組合名」「氏名」「住所」を書いて、送ってください。ハガキの余白に紙面の感想、職場のできごとや近況などを一言書き添えていただければうれしいです。正解者の中から10人に図書カードをおくりまします。なお、送っていただいたハガキは「仲間の声」として紙面に掲載させていただきます。送付先
〒530-0041 大阪府北区天神橋1丁目13-15 大阪グリーン会館4階 大阪自治労連「おおさか自治体の仲間」編集部

応募の締め切り

2月28日
正解と当選者の発表/2014年3月号の紙面に掲載

11月号の解答
「セカイノタカラキューショウ」

オ	ヤ	カ	タ	マ	ハ	カ	セ
ジ	キ	カ	タ	マ	ハ	カ	セ
チ	ユ	ウ	ク	ウ	ク	ウ	ク
シ	ユ	ウ	ク	ウ	ク	ウ	ク
エ	ン	シ	エ	ン	シ	エ	ン
ラ	ギ	ヨ	ク	ラ	ギ	ヨ	ク
タ	イ	ン	シ	ラ	ギ	ヨ	ク
シ	ラ	ギ	ヨ	ク	ラ	ギ	ヨ

2013年11月号「クロスワードクイズ」の正解は「セカイノタカラキューショウ」でした。

各職場から17通の解答をいただきました。つぎの5人のみなさんに図書カードをおくりまします。(敬称は省略)

- ▲上野義弘 (大阪府職労)
- ▲道井紫 (岸和田市職労)
- ▲中瀬恵子 (松原市職労)
- ▲久米盛次 (東大阪市職労)
- ▲西島美智子 (枚方市職労)

「海賊とよばれた男」を読んで感動しました。仕事でつかれた時は、思い出してがんばっています。感動こそ人を動かす！

谷口 善雄 (堺市職労)

定年延長でも生涯賃金が上がらないのなら、5年分タダ働きじゃないか。そんなこと、労働者として決して許せない。

丸山 晋樹 (吹田市職労)

年を重ねるにつれ、給料はあまり上昇しません。定年まぢかな人は、昇給なし。年金支給年齢は上がるし、生活は苦しくなりますね。寝屋川市職労野球部、優勝おめでとうございます。

土橋 和三 (富田林市職労)

ほとんど働きにくい環境になっているように感じますが、自分の目の前における仕事は何かこなしていこうと思っています。

乗鞍 弘仁 (東大阪市職労)

選挙もなく自民党の暴走は誰も止められないのでしょうか。

上野 義弘 (大阪府職労)

民意からいって遠く強行国会、暴走を止められるのが、民の声。

久米 盛次 (東大阪市職労)

岸和田市で第3回全国給食シンポ開催 試食の提供で喜ばれる



岸和田市職労の調理員が提供した給食



食べる子どもたちがつながり、思いがあれば伝わる」と調理員、栄養士の実践を映像とともに報告しました。

パネルディスカッションでは、保護者からアレルギーを持つ子どもの給食で学校、教育委員会への要望で改善された報告や調理員から「わが子に食べさせる思いで、日々の調理に励んでいる。公務労働者だからこそできることがある」などそれぞれの立場から給食に対する思いや実践報告がされました。参加者には岸和田市職労から試食の提供もされ、大変喜ばれました。

12月8日浪切ホールで「第3回全国給食シンポジウム」と学校・保育所給食の展示が行われ、全国から274人の参加がありました。大阪自治労連からも多数参加するとともに、府内各市教育委員会関係者なども参加しました。

講演では、吉原ひろこ氏(食育・料理研究家)が「給食を豊かで安全な、そしてステキなものにするために」と題して全国約400校の学校給食現場を訪問し、食べ歩いた経験をもとに「作る調理員、

仲間の情報ひば



多岐(?)はおとーじんが年を重ねていくのだね。